

今後の事業環境認識と目指す方向性

電力小売全面自由化（2016）、ガス小売全面自由化（2017）、送配電部門の法的分離（2020）、ガス導管部門の法的分離（2022）

事業環境の変化

お客さま

- ・電力・ガス会社の選択が容易に
- ・安全、安定、安価で、地球環境に配慮したサービスへのお客さまの要望は、一層高まる

エネルギー市場

- ・国内需要伸び悩み
- ・大規模発電所新設等による供給力の増加
- ・再生可能エネルギーの活用促進
- ・新たな事業者（他業種等）の参入

○送配電部門の法的分離に加え、小売全面自由化、卸電力取引所の活性化等により、「発電分野」と「小売分野」、それぞれにおいて事業環境変化が加速

- ・発電分野では、卸電力取引所の活用等を通じた**事業者間の取引機会が増加**
- ・送配電分野では、さらなる**中立性・公平性の徹底に加え、法的分離や再生可能エネルギーの活用促進など、新たな課題を踏まえた安定供給の維持が必須**
- ・小売分野では、**お客さまによる選択を通じ、従来のエリア・業種（電気・ガス等）を越えた競争が激化**

目指す方向性

地球環境に配慮した、良質かつ安全なエネルギーの安価で安定的なお届け ～変わらぬ使命の完遂～

同時達成により、お客さまにより良いサービスをスピーディーにお届けする

事業環境の変化に対応した「新しいビジネスモデル」の構築 ～新たな価値の創出～

変化に柔軟・迅速に対応する自律的な事業体制の構築

- ・カンパニー制の導入

変化を先取りした事業領域の拡大

- ・事業エリアの拡大
- ・サービスの拡大
- ・当社グループ以外の経営資源の活用拡大